

第1学年1組 図画工作科学習指導案

1. 題材名 ならべて かさねて つみあげて A表現(1) 造形遊び

2. 題材設定の理由

- 本学級の子どもは、明るく活動的で、多くの子どもが図画工作科の時間を楽しみにしている。図画工作科の学習に対して意欲的に取り組む子どもが多い。1学期に学習した題材「いろいろ ならべて」では、ペットボトルキャップを大量に用意し、それを主材料とした造形遊びを行った。その学習の中で、道や迷路に見立てて長く並べたり、お城の壁に見立てて重ねたりしながら、熱中して活動する姿が見られた。子どもの中には、ペットボトルの色に着目して構成を考えたり、重ねたときの強度を出そうと交互にレンガ積みをしたりするなど、材料の特性を生かして思い付いたことを表そうとする思考が働いている様子があった。一方、並べられる広さをもっと求める姿や高さをもっと追求しようとする姿などこの題材では思いを十分に満たせないもどかしさを感じている様子も見られた。

そうしたことから、より広い場所で、自分の身の丈を超えるほどの造形展開をする機会を与え、体全体を十分に使って一人一人が思い付いたことを試すことができる造形活動を行う楽しさを十分に味わわせたいと考えた。

- 本題材では、「ペーパーハニカム」を主材料とした造形遊びを行う。ペーパーハニカムを主材料とする理由は、子どもの身の丈を超えるような大きな造形展開を可能にし、子どもは、思い付いたことを試してみようと夢中になって活動し、つくりだす喜びを強く感じるということが想定されるからである。思う存分、活動の楽しさを味わわせたい。ペーパーハニカムは、段ボールとは異なり、両面の紙板の間に蜂の巣構造の紙が挟まれているものである。通常は、緩衝材や建材の内部に使われたりすることが多い。段ボールのような軽さがありつつも強度がかなり強い。また、様々な厚みのものがある。この材料をレンガ状にカットしたものや板状にしたものなどを十分な量を用意したい。また、補助材として円形のダンボール片も用意したい。子どもは、これらを並べたり、重ねたりするだけではなく、「高く大きく積みあげてみたい」という思いを強く持ち、体全体を働かせて材料に関わり、ダイナミックな造形展開をすることが期待できる。活動場所としては、思い付いたことが自由にのびのびと展開できるように体育館のフロアを活用する。また、体育館には、表しているものを俯瞰できるように、材料置き場、自由活動の場とは別にひな壇を設置したい。

このような材料や場を設定する中で、材料の特性を生かしながら、並べる、つなげる、重ねる、積み上げるなどの行為を基として、友達と関わり合いながら思い付いたことを自由に試みることができるダイナミックな造形活動の楽しさを子どもたちに味わわせたいと考えている。

<保幼小連携の視点から>

幼稚園では、いろいろな素材にふれて遊ぶ経験をしている。積み木を並べたり、積み重ねてついたりして遊んでいる。そこで経験したことが、ペーパーハニカムを並べたり、重ねたり、積んだりする造形遊びに生かされてくる。

<小中連携の視点から>

本題材は、並べる対象物に色を加えた第2学年の「にじいろコレクション」へと続く。これは水に絵の具やインクを混ぜて色水をつくり、透明の容器に移して色を比べたり、光にかざして見たりして楽しみながら活動する造形遊びである。材料、そして他の子どもとの関わりによって生み出す造形表

現は、中学校美術での主に表現の活動を支える力になる。身の回りの世界に進んで働きかけ、試行錯誤しながら自分の思いを具体化する能力は、幅広い領域において発揮される基礎的な力となる。

3. 指導上の着眼

【着眼1】 題材との出合わせ方に重点をおいた学習展開の工夫

- ペーパーハニカムは、子どもにとって初めて手にする材料である。そこで、この材料の特性やこれをもとにした造形活動への期待感を持たせるために、本題材に入る数日前から教室等にペーパーハニカムを少しずつ置くなどして子どもが自由に触れることができるようにしておく。題材の導入時には、子どもが本題材での活動に対する活動意欲をより強くもつことができるように、体育館のフロアに十分な量のペーパーハニカムや円形の段ボール片を用意し、その上を覆っていたブルーシートを取り除く出合いの場を設定する。

【着眼2】 子どもの思いを引き出す言語活動

- 子どもが本材料の特性を生かした造形展開への発想・構想を自由に広げたり、深めたりすることができるように、本題材での言語活動は、特出して設定をせず、友達と関わり合える自由性を活動の場で大切にする。また、個の発想や構想、創造的技能のよさが全体に広がるように、教師がそのよさをとらえて意図的に大きな声で賞賛する。

【着眼3】 育成する資質や能力を明確にした評価と指導

- 本時において、やりたいことがうまく見付けられず体全体を働かせて材料に関わり、ダイナミックな活動ができず、つまづいている子どもには、友達が表している様子を見せたり、教師が表し方についての具体的なアドバイスをしたりする。こうした子どもは、別題材での活動の様子から事前に教師が把握をしておき、計画的な個別指導ができるよう準備をしておく。
- 子どもが表現していることのよさが実感できるように子どもの思いに共感し、並べ方や重ね方、積み方などで工夫が見られる点を見付けて賞賛する。また、思い付いたことを表現できている子どもには、思いをうまく表現できたことの成就感を味わうことができるように賞賛する。

4. 目標

造形への 関心・意欲・態度	○ ペーパーハニカムや段ボール片を並べたり、重ねたり、積んだりして遊ぶことに興味や関心をもち、意欲的に取り組もうとする。
発想や構想の能力	○ ペーパーハニカムや段ボール片の大きさや量、形や材質等から発想し、楽しい並べ方や重ね方、積み方を構想することができる。
創造的な技能	○ 体全体を働かせながら材料に関わり、並べ方や重ね方、積み方を工夫することを楽しむことができる。
鑑賞の能力	○ 自分や友達がつくった形やものの面白さや工夫などを感じ取ることができる。

5. 指導計画と評価計画（総時数3時間）

	主な学習活動	指導の工夫	評価規準（評価方法）
であう・みつけらわす	1. ペーパーハニカムや段ボール片を見て、その量や形や大きさをとらえ、並べたり、重ねたり、組み合わせたりする。② <1/2 本時>	○ 遊びのイメージを広げるように「どんなことができそうか」「どんなことをしたいか」話し合う機会をもつ。 ○ 高く積み重ねたり、長く並べたり、何かをつくったりすることなど、友達と協力し合い、活動できるように助言していく。 ○ 活動が広がるように、並べ方や重ね方、積み方などで工夫が見られる点を見つけて賞賛する。	【関】材料を並べたり、重ねたり、組み合わせたりして遊ぶことに興味・関心をも、意欲的に活動している。 (行動観察・言動) 【発】材料の大きさや形などから、楽しい並べ方、重ね方を考えている。 (行動観察・作品) 【創】材料を並べる、重ねる、積むなど様々に操作をしながら思い付いたことを表している。(行動観察・作品)
あじわう	2. 自分や友達の活動を見合い、よさやおもしろさを発見する。①	○ 自分の考えを発表できる場を設定し、自分や友達のよさを認め合えるようにする。	【鑑】自分や友達の並べ方、重ね方の面白さや工夫を感じ取り楽しんで見ている。 (言動・鑑賞カード)

6. 本時の学習 平成28年10月4日（火） 第5校時 体育館

(1) 主眼

材料の量や大きさや形に着目してペーパーハニカムや段ボール片を並べたり、重ねたりして遊ぶことを通して、思い付いたことを表現する楽しさを味わうことができるようにする。

(2) 準備

- ① 教師 ペーパーハニカム（レンガ状、板状、長めのもの）、段ボール片（円状）、セロハンテープ、接着剤

(3) 本時でめざす子ども像









- ペーパーハニカムや段ボール片を扱う楽しさを味わい、それらを広い体育館のフロアを生かして、並べたり、重ねたり、積んだりして遊ぶことに高い関心を持ち、意欲的に活動する子ども

【造形への関心・意欲・態度】

- ペーパーハニカムや段ボール片の量や大きさや形などを見て、友達とその組み合わせ方などを交流しながら、楽しいと感じる並べ方、重ね方、積み方を夢中になって考える子ども

【発想や構想の能力】

(4) 展開

主な学習活動	○ 指導の工夫 【観点】評価規準（評価方法）
<p>1. 大量のペーパーハニカムと出会う。</p> <p>わぁ。たくさんある。いろいろなかたちがある。</p>  <p>じぶんよりおおきいものがつくれそう。</p> 	<p>○ 本時の学習への意欲を高めるために、ペーパーハニカムを活動の場に十分な量を用意し、覆っていたシートを取り除き、ペーパーハニカムで、何ができるか、どんなことができるかを問いかける。</p> <p>○ 活動の方向性を確認するために、活動の基本的な要素は、並べること、重ねること、積むことであることを板書で示す。また、安全に楽しく活動することができるように、注意点（・なげない ・けらない ・はがさない）を示す。</p> <p>【関】材料を並べたり重ねたり積み上げたりして遊ぶことに興味や関心をもち、取り組む。（行動観察・発言分析）</p>
<p>めあて ペーパーハニカムを ならべたり かさねたり つみあげたりして あそぼう。</p>	
<p>3. ペーパーハニカムの大きさ形から思い付いたことを試しながら並べ方、重ね方や積み上げ方を工夫する。</p> <p>【言語活動】</p> <p>おおきなおしろをつくらうよ。</p>  <p>まわりをかこんでふねにしよう。</p>  <p>たかくしたけど、これからどうしようかな。</p>  <p>いっしょにタワーをつくらうよ。</p>  <p>ながいいたみたいなものをつかったら、はしができるかも。</p>  <p>タワーのところまではしでつなげてみようよ。</p> 	<p>◆ 発想や構想の能力面でのつまずきに対して</p> <ul style="list-style-type: none"> やってみたいことが思い付かず、活動があまり広がらない子どもに対しては、対話をしながら思いを聞き出したり、教師と一緒に活動しながら表した形を発想源としてしたりする。 やってみたいことは思い付いているが、表し方がわからず行きづまっている子どもには、友達の活動の様子を見て回り、自分の活動の参考にするように促したり、表し方について積み方などの具体的なアドバイスをしたりする。 <p>○ 子どもが自身の活動のよさを実感したり、よりいっそう楽しいと思うことを試みてみようという思いをもったりすることができるように、形の組み合わせなど発想をふくらませながら表現活動に取り組んでいる子どもを賞賛し、そのよさを他に広める。</p> <p>○ セロハンテープや接着剤は、子どもが必要とした場合、理由を聞いて与える。</p> <p>○ 一人で活動している子ども、友達と関わりながら活動している子ども、どちらの活動も認める。</p> <p>【発】材料の量や大きさ、形などに目を付け、楽しい組み合わせを発想し、構想する。（行動観察・発言分析）</p>
<p>4. 表した作品をもとに学習のふりかえりをする。</p>	<p>○ 自分や友達が表したもののよさを感じ取ることができるように、体育館のフロアに設置したひな壇に上がって友達の作品を鑑賞する場をもつ。安全面に配慮し、ひな壇は壁際に設置をする。</p>